

1. 補強工事の進捗について

【水替え工】

既設堰堤と仮締切工の間の排水を行い、工事に必要な作業ヤードの造成も完了しました。また、今後の工事に必要な排水ポンプ再配置や堰堤上流足場の組立も行いました。

【既設堰堤補強工】

堤体内部の空洞に充填材（セメントミルク等）を充填する予定です。
このため、4月より既設堰堤の上・下流側に足場を設置、注入プラントや削孔機械などの準備を行って参りました。

5月からは、充填材や施工手順の確認を行う『試験グラウチング』の施工を6月中旬までの予定で実施しております。



栈橋右岸端部に設置した注入プラント



上空から見た工事現場



写真-上：堰堤上流に設置した足場



写真-右：堰堤下流側に設置した足場

2. 工事工程

6月の実施工程は以下の通りです。

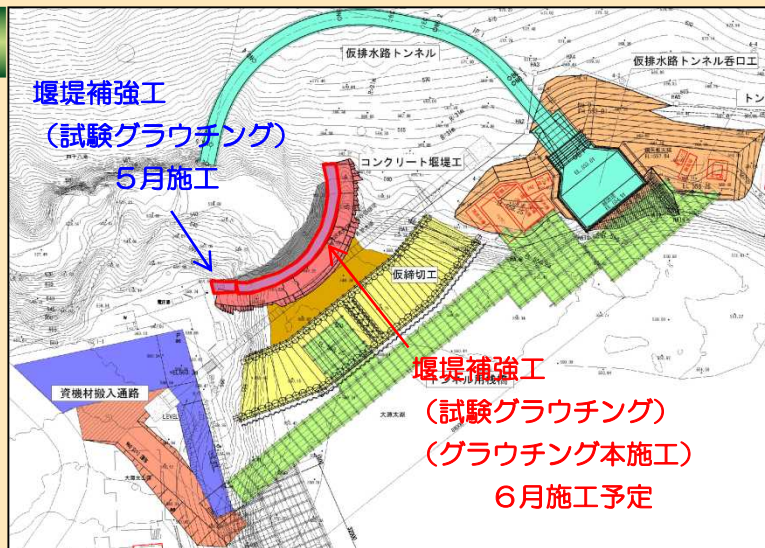
【既設堰堤補強工】

試験グラウチングに引き続き、グラウチングの本施工を行います。

【濁水流下防止対策】

冬期間に撤去していた、谷後地区取水堰の濁水防止フィルターについて、大源太川の流量が落ち着く6月中旬頃に再設置を予定しています。

日程が決まり次第、あらかじめ回覧等でお知らせしたいと思います。

[illegible]

3. 既設堰堤補強工における濁水対策について

既設堰堤補強工のグラウチング施工にあたり、万が一、充填材（セメント等）が漏れた際の対策として、既設堰堤下流側に「コンクリートの仮締切」を設置していますが、さらに下流の水褥池に汚濁防止膜と水質観測装置を設置し、常時監視ができる体制としました。また、谷後取水堰にも同様の観測装置を設置し、異常がないか常時監視を行っています。



写真-左

堰堤下流に取付けた汚濁防止膜



写真-右

谷後取水堰堤に設置した観測計器

4. 既設堰堤の銘板が見つかりました。

大源太川第1号砂防堰堤は、昭和14年の竣工から80年以上の年月を経ています。この度、既設堰堤補強工にあたり足場設置している際に、当時のものと思われる銘板が右岸側袖部で見つかりました。

当時は第二次世界大戦がヨーロッパで勃発した年ですが、まだ『NO.1』と英語表記が許されていたのでしょうか。また、現在の『国土交通省』の前身でもある『内務省』との表記にも大変な歴史を感じさせられました。



既設堰堤の銘板

5. 『越後湯沢ユニバーサルウォーク』が開催されました。

去る5月25日（土）、湯沢町観光協会等が主催する『第10回越後湯沢ユニバーサルウォーク』が開催されました。

当日は、それぞれのコースにて自由にウォーキングを楽しまれていました。

ロングコースの大源太コース（15km）にも多数の方が参加され、山々に残る残雪と新緑を満喫されていました。堰堤付近では多くの方が立ち止まり、堰堤や工事の様子をご覧になっていました。

皆様も、散策されて初夏の大源太を堪能されてはいかがでしょうか。



〈湖の周回遊歩道はゆっくり歩いて30分程度です〉



個人のペースで参加できるユニバーサルウォーク



堰堤や工事の様子をご覧になる参加者もおられました

湯沢砂防事務所のホームページから大源太川第1号砂防堰堤補強工事の最新情報をご覧頂けます。
アドレスは「<http://www.hrr.mlit.go.jp/yuzawa/>」です。

工事に関するお問い合わせ

国土交通省湯沢砂防事務所（建設専門官）

TEL 025(784)2264

佐藤工業(株)大源太砂防堰堤作業所

TEL 025(775)7948